

とれたてたまねぎクッキング ～ナンづくりになちゃれんじ～

- 1 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、保護者間のコミュニティーの構築を図る
- 2 日 時：平成29年4月30日（日）9：00～16：00
- 3 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 4 対 象：子どもとその保護者 25組、80名程度
- 5 参加者：27家族86名（保護者37名、子ども49名）



6 プログラムの内容： 9：00～開会式・はじめのあいさつ～

今年度1回目となる親子ちゃれんじは、参加27家族のうち17家族が前年度本事業からのリピーターであった。そのため事業参加への楽しみに加えて、他家族との再会を喜んでいる姿も見られた。職員、ボランティアの紹介の後は、5つの班に分かれ、家族紹介及び今日楽しみにしていることを発表し合った。たまねぎ畑へ行く準備が出来た班から、吹上浜の海沿いを列を作りながら移動した。



10：00～たまねぎ収穫～

たまねぎ畑に移動後、たまねぎ農家の阿部雅一さんにたまねぎに関するクイズや、たまねぎ収穫のポイントについて説明をしていただき、収穫体験をおこなった。ふかふかの畑の土に長靴で入り喜び子ども達や、あたり一面たまねぎだらけの畑に驚く子どもたちと、畑に笑顔がいっぱい広がった。



子ども達の顔の大きさと変わらないくらい大きいたまねぎに「なかなか引っこ抜けへん」「めっちゃたまねぎ重たい！」と言いながら、親子でたまねぎを引きあう姿もみられた。

10：30～班対抗、たまねぎ早むきゲーム～

たまねぎ収穫体験後、阿部さんの畑近くの倉庫に移動し、ゲームを行った。保護者による班対抗ゲームは女性・男性1名ずつ各班2人代表として大玉2～3個のたまねぎの皮を早くむく「たまねぎ競争」をした。代表として参加した方々はぎっしりつまった玉ねぎの皮を苦戦しながらも必死でむき続けていた。

倉庫からは、「がんばれー！がんばれー！」と子どもたちの応援する声で大盛り上がりとなった。



11:30～野外クッキング“ナンづくりにチャレンジ”～

今回の野外クッキングはカレー・ナンづくり・そしてたまねぎを使った1品料理と3つのチャレンジクッキングをおこなった。

たまねぎを使った1品料理は当日来てから準備された食材だけで作り上げるというチャレンジだったため各班話し合いを行い、個性豊かな料理が完成した。ナンをピザ風にアレンジしたものや、たまねぎサラダ、たまねぎステーキなど1品だけではなくいくつのも料理が机に並んだ。

班の中で、火をおこす係、野菜を切る係、片付けをする係、食事の準備係など役割をつくり、保護者も子どもも一緒になってクッキングを楽しんでいた。



14:00～親子分かれての活動～

野外クッキングの後は、親子に分かれてひとときを過ごした。

子ども達は、6人のボランティアのお兄さん・お姉さんを鬼ごっこのように追いかけて、眼に貼り付けている玉ねぎ画用紙を取るゲームをした。とった数だけ、玉ねぎをもらえるという事で、子ども達は笑い声をあげながら一生懸命追いかけていた。

保護者は、家族で行きたい夏のおすすめの遊び場についてゆったりお茶を飲みながら情報交換を行った。



15:00～家族対抗玉ねぎゲーム～

1個の玉ねぎのお重さ、いくつかかごの中に入っている玉ねぎの重さを当てるクイズをした。今回収穫した玉ねぎはとても大きく、またずっしりとしていたので、ぴったり賞は出なかったが、家族で相談しながら、子ども達はぴったり賞をねらい、クイズに答えていた。



7 参加者の声

- 普段できない玉ねぎ収穫体験が楽しかった。
- 親子で一緒に料理が出来た
- 玉ねぎ鬼ごっこが楽しかった。
- 薪を使っての火おこしが楽しかった。



8 所感

新年度初の親子ちゃれんじは、募集開始1週間も経たず定員に達した。南あわじ市の方々だけでなく島内幅広く周知されてきたことやこれまで親子ちゃれんじに参加して下さった方々から紹介されての申し込みがあったりトリピーターの方々からの発信も多くあったのだと感じた。アンケートでは「多くの方々から普段なかなか体験することができない玉ねぎ引きが楽しかった」との声を多くいただき、新玉ねぎのおいしさ、収穫の楽しさも伝える事ができていると感じた。

